

第4回 幼稚園教諭・保育士合同研修会 【10月8日（水）110名参加 池上会館】

テーマ「絵本から広がる遊びの世界」

—絵本を活用したわくわくドキドキの保育実践とは—

講師 白梅学園大学 子ども学部 教授 仲本美央先生

あなたは絵本を楽しんでいますか？

保育者の“あなたとともにこの絵本を楽しみたい”という気持ちから始まるのが{読み合い}です。

読み聞かせ活動から、読み合う活動（まじりあう活動）になっていきます。

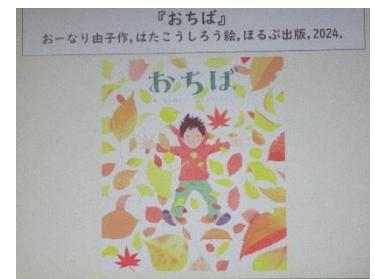
絵本は五感で味わうもの⇒例えば絵本「おちば」…秋の深まる冷たさ、落ち葉のにおい

落ち葉の色の鮮やかさ、落ち葉が歌をうたっているような感覚になる

絵本を読み合う知識と技術

- ・絵本を読み合う活動に含まれる4つの要素

- ① こどもと保育者またはこども同士が言葉、感情、表情、行動などを交わし合う
- ② 楽しみながら相互の働きかけによって感情や行動を共有していく
- ③ 互いの感情や行動から、新たな活動（遊びなど）へ発展する
- ④ 読み合う活動とヒト・モノ・コトの経験がつながる



☆図鑑・科学絵本が保育現場に必要な理由

- ・図鑑、科学絵本は様々な種類の本の一つ
- ・保育者が日頃からこどもと一緒に本を手に取っているかが鍵となる
- ・図鑑、科学絵本と「こどもの興味・関心」「生活体験」「知りたい、やりたい気持ち」は双方向
- ・実際に見たい、知りたい、確認したい、理解したい気持ちが出てくる

☆こどものわくわくドキドキを見つけ出して遊ぶ保育者の共通点

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ・こどもと一緒に気付く | ・こどもとやることを面白いと感じる |
| ・こどもの知りたいという気持ちを読み取る | ・こどもと共に知りたいという意欲が生まれる |
| ・こどもと一緒に探求する | ・現れた疑問をこどもと一緒に考え合う |
| ・こどもと一緒に探究する | ・こどもと一緒に実際にやってみる（確かめる） |
| ・こどもの想像していることを創造する力に変える | ・こどもと一緒に達成感を味わう |



参加者の感想

参加者にこどもと楽しんでいる図鑑・絵本を持参してもらいました（一部抜粋）

図鑑

- ・雲の不思議がわかる本
- ・自分で読める図鑑シリーズ
- ・ダンゴムシのお家
- ・うんちレストラン

絵本

- ・ぐりとぐらシリーズ
- ・はらぺこあおむし
- ・どうぞのいす
- ・はじめてのおつかい
- ・パンどろぼう
- ・おおきなかぶ
- ・ラチとらいおん
- ・こんとあき

- ・絵本と保育のつながりが実践体験をもとに講義していただけて分かりやすかった。
- ・絵本は“読み聞かせ”という感覚が強かったが、“読み合う”と言うことが大切だということを学んだ。
- ・改めて絵本の存在はこどもたちの成長や生活に欠かせないと思った。
- ・絵本を保育者が読んでいるときにはこどもはいろいろなことを想像して五感で味わっていることを学んだ。
- ・こどもの興味・関心、つぶやきをキャッチして、絵本や図鑑を活用し遊びを発展していきたい。